

広報

かみ
自然の恵み・人のふれあい南アルプス邑

はやかわ

2013

7

No585

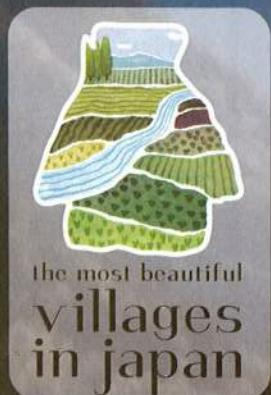
(足駒峠付近からの眺望：日本上流文化圏研究所提供)

世界文化遺産に

第37回世界遺産委員会において、富士山が世界文化遺産登録となりました。

富士山は日本の宝であり、富士山に誇りと愛着を持っていると思います。そのような思いをより多くの人と共有し、日本国民として分かち合おうと、ここに富士山を取り巻く周辺自治体の共同企画といたしまして、各市町村の広報紙7月号の表紙を富士山で飾ることといたしました。

今、富士山の文化や自然、美しい景観を未永く守り、後世に引き継いでいくための「スタート」地点に立ったに過ぎません。日本の象徴、世界の宝である富士山を、全力を挙げて自然保護・環境保全に取り組んで行かなければなりません。



早川町は『日本で最も美しい村』連合に加盟しています。

平成二十五年度早川町一般会計当初予算等を承認

6月町議会定例会議案

六月町議会定例会が、六月十日
に開かれ、平成二十五年度一般会
計当初予算などが慎重に審議され
ました。

審議の内容は次のとあります。

催する時間的余裕が無かつたた
め専決処分したものです。

繰越事項

◆平成二十四年度早川町一般会
計繰越明許費繰越計算書

条例

◆早川町一般職員等の給与の臨
時特例に関する条例制定の件

その他の



専決事項

◆早川町税条例中改正の件
◆早川町国民健康保険税条例中
改正の件
右記の二件は、地方税法改正
に伴い、条例の一部を改正する
必要がありましたが、議会を開

必要がありましたが、議会を開
く必要があります。地方税法改正

新型インフルエンザ等対策特
別措置法の施行に伴い、災害派
化のための被保険者情報分析事
務が追加されました。

◆早川町職員給与条例中改正の
件
赤沢同志会が指定されました。
◆早川町赤沢伝統的建造物群
保存地区「清水屋」の管理に関
する指定管理者の指定の件
富士川町教育長の堀口会長が「これから
の少子・高齢化社会の中で、将来を担う児童・生徒たちが税の意義や役割について学ぶことは大変重要なことであり、峡南地区における租税教育をよりよい方向に進めてまいりたい」と挨拶されました。

平成24年度の峡南地区における租税教育活動として、納税貯蓄組合の依田章会長からは、全国納税貯蓄組合連合会主催の「中学生の税に関する作文」、公益社団法人鰐沢法人会の遠藤公夫副会長からは、同会主催の「親子で考える税に関する標語」についての紹介があり、出席者から高い評価を受けました。

また、平成25年度の事業計画として、税金教室の開催及び作文や税に関する標語などへの積極的参加が承認されました。

峡南地区租税教育推進協議会は、平成19年12月18日に峡南地区6町（当時）の教育関係者が発起人の中心となり設立されました。

「租税教育推進協議会」は、次代を担う児童・生徒に、国及び地方公共団体の財政を支える租税の意義や役割ならびに適正な申告と納税が国民の義務であることを理解してもらうために、地域の教育関係者、国税・地方税関係者及び有識者等が租税教育のあるべき方向を協議し、地域社会に即した租税教育を推進していくための協議会です。

【問い合わせ先】 鰐沢税務署 総務課（峡南地区租税教育推進協議会 事務局）
電話 0556-22-3191 FAX 0556-22-4735



平成25年春の叙勲で、元早川町消防団副団長の佐伯順治さん(温泉)に、長年にわたる消防団活動への功績に対し、5月10日、皇居において瑞宝単光章が授与されました。この栄誉を心からお祝い申し上げます。



まちの 話題

6月8日から9日にかけて、品川区との交流事業「身延赤沢ハイキングとマウントしながわ」が行われました。20名ほどの参加者は、ウォーキングや散策で初夏の早川を楽しんでいました。



6月7日、早川南小学校、北小学校の3年生が役場見学に訪れました。役場での仕事のことなど、熱心に学習をしていました。



6月9日、町民体育館、町民スポーツ広場等において恒例となっている支部対抗軽スポーツ大会が開催されました。各支部とも僅差の成績でしたが、本建地区が優勝しました。

富士山の世界文化遺産登録が実現いたしました。名実共に「世界の富士山」として認められたと思うだけに、一県民としてうれしい限りです。富士山の美しさ、その勇姿はわが国の誇りです。国民誰もが心の拠り所として持ち続けている永遠の山であることは言うまでもないのですが、こうした形で世界中に改めて認知されたことは大変意義のあることです。

この登録に向かつては、一九九二年からスタートしたこと、国をはじめとして山梨、静岡両県、地元市、町、村のご苦労は大変なことだったと思います。その都度の報道等によると、厳しい課題だけに果たしてどうなるのかという心配も先立ちましたが、兎に角よかつたという気持ちでいっぱいです。

私たちも、この素晴らしい富士山を共有しています。七面山や筑ヶ岳や十谷峠、そして、南アルプスからの富士、千須和、戸屋、夏秋、笹走集落からも仰ぐことが出来ます。そして、普段私たちは普通に富士山と接していること、このことが当たり前のような生き方をしてきたことも事実です。時々、他所の県に行つて、富士山を誇らしげに話すと「富士山は、静岡県ではなかつたですか」という答えが返ってくることがよくあります。山梨の印象が薄いことを残念に思つてきたところです。このたびの登録をきっかけに、富士山ファーバーは既に始まっています。富士山の環境を守り続け、富士山を中心として人々によつて創り上げてきた暮らしや文化的な価値をいつまでも後生に継承していくことが、このたびの世界遺産登録の決定理由です。登録の実現は、また新たな出発の始まりです。富士の国山梨に住んでいくことを誇りながら、自然環境を大切にすることに意を注ぎ、世界遺産の在る県土づくりに私たちも参画して行こうではありませんか。

ここにちは 町長です

まちのすがた 人口 1,221人 男 596人 女 625人 世帯数 678戸 (7月1日現在)

編集／発行 〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住758 早川町役場・総務課 ☎(0556)45-2511

早川町ホームページ <http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/>